

# 星のたより

2023(令和5)年  
9月号  
Vol. 348

☆今月の豆知識☆  
 ① ちょうぶん(秋分)の日と、春分の日が祝日だよ。地球に北半球と南半球があるように、空も南と北に分けられてて、南北の境目が「赤道」、特に空の境は「天の赤道」と言うんだ。春分は太陽が天の赤道を南から北へ、秋分は逆に北から南に横切るんだよ。秋分を過ぎるとだんだんと夜が長くなって星を見る時間が増えるね。



## プラネタリウム100周年

～さじアストロパークでも公認企画開催～

1923年10月21日、ドイツ博物館でカールツァイス社制作の近代的な光学式プラネタリウムが関係者向けに試験公開しました。人々はそれを「イエナの驚異」と絶賛しました。2023年はイエナの驚異から100周年。プラネタリウムの誕生から100周年を記念して、日本プラネタリウム協議会の記念事業が実施されます。これに合わせて、さじアストロパークでも「プラネタリウム100周年記念展示」をおこないます。この展示は「プラネタリウム100周年記念事業公認企画」です。



プラネタリウム  
100周年

プラネタリウム100周年関連の情報は、「日本プラネタリウム協議会(JPA)」内の公式HP「<https://100.planetarium.jp/>」をご覧ください。

## 第28回「月まつり」開催

～うさぎ年に、月のうさぎを見よう～

中秋の名月に合わせて、第28回月まつりをおこないます。

うさぎの模様が見えるかな？

日時：9月29日(金) 18時～21時45分、9月30日(土) 10時～21時45分  
 参加費：一般(高校生以上) 500円、小中学生 200円  
 その他：100円のお買物券付き  
 工作体験・お茶席など別途料金が必要なコーナーもあります。



## イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「鳥取天文協会活動展」6月21日(水)～9月18日(月祝)  
 主に鳥取県内の天文愛好家の星空の写真やお役立ち手作りグッズなどを展示しています。  
 「プラネタリウム100周年記念展示」9月21日(木)～12月3日(日)  
 プラネタリウム100周年記念事業公認企画。プラネタリウム装置の発明から現在に至るまで、展示を通じてその変遷をたどります。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク  
 第2部 テーマ番組「月をめざして」 6月21日(水)～9月18日(月祝)  
 テーマ番組「星空の水平線」 9月21日(木)～12月17日(日)

☆夜間観望会☆ ☆9月のテーマとおすすめ情報

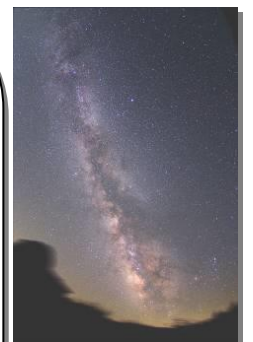
こと座一等星・ベガ	1(金)、2(土)
いて座の星の集まりM22	8(金)、9(土)
たて座の星の集まりM11	15(金)～17(日)
月と土星	22(金)、23(土)
第28回月まつり	29(金)、30(土)
観望会で満天の星が楽しめる	5(火)～11(日)、12(火)～18(月・祝)
観望会で月がよく見える	21(木)～24(日)～27(日)、26(火)～29(金)



M22

☆9月の休館日 4(月)、11(月)、19(火)、20(水)、25(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。



# プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

## 1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。前半のライブトークでは、当日夜に見える星空や季節の星座などを紹介しています。

### 夏のテーマ番組「月をめざして」 投影は9月18日まで

ロケットに夢と希望を持ち実現へと導いたパイオニアたちの物語をはじめ、人工衛星やロケットが飛び仕組みをわかりやすく紹介します。

### 秋のテーマ番組「星空の水平線」 投影は9月21日より

新しい視野を広げる冒険の船旅「星空の水平線」が始まります。



プラネタリウム・天体観察会  
どちらも定員40名で実施中

## 2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



### 9月の注目天体情報

#### ☆わし座と近くの小さな星座

わし座の目印は、1等星（正確には0.8等星）のアルタイルです。この名前はアラビア語の「飛ぶ鷲」が語源といわれています。中国では牽牛星、日本では彦星と呼ばれる七夕伝説に登場するなじみのある星です。さて、わし座にもデネブと呼ばれる星があって、鷲のしっぽで輝きます。有名なはくちょう座のデネブは明るい1等星ですが、わし座のデネブは3等星と控えめです。わし座は、大神ゼウスと一緒にいた大鷲とも、ゼウス自身の化身ともいわれています。

わし座の近くには、小さな星座がいくつかありますが、「いるか座」と「や座」は見つけやすいので、さがしてみましょう。



#### ☆わし座の近くにある星雲・星団

わし座の近くには星雲や星団がたくさんあって見どころいっぱいです。

#### 惑星状星雲 M27 (こぎつね座)

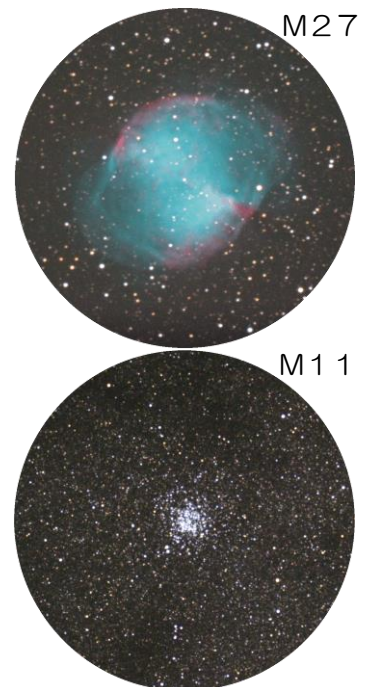
恒星の一生が終わった姿の星雲です。惑星状星雲の中では、比較的距離が近いので望遠鏡では見ごたえがあります。鉄アレイの形に似ていることから「あれい状星雲」という愛称があります。

距離 820 光年 見かけの大きさ 7 分角 写真等級 7.6 等

#### 散開星団 M11 (たて座)

非常に密集した星の集団です。数百個の星が集まった姿は、球状星団のようにも見えますが、こちらは数億歳と比較的若い星たちの集まりです。

距離 5,610 光年 見かけの大きさ 13 分角 実視等級 6.3 等



## 中秋の名月

今年は9月29日（金）が中秋の名月で、十五夜です。中秋の名月は別名「芋名月」といい、里芋などの芋類の収穫を祝う行事です。また、すすきや萩を飾り、月見団子を供えて見る月もまた風情のあるものです。

秋の夜長にきれいな月をゆっくりと眺めてみませんか？

### 仲秋の名月？中秋の名月？

春夏秋冬はそれぞれ3ヶ月ずつありますが、この3ヶ月を順に「初・仲（中）・晩」と呼びます。秋で見ると7月、8月、9月は初秋、仲（中）秋、晩秋となります。仲は季節の中ごろ、中は真ん中をさします。仲秋は秋の半ばの1ヶ月の8月、中秋は秋の真ん中で、特に8月の真ん中の15日をさします。表記としてはどちらも間違いではないようですが・・・

### 中秋の名月、十五夜は満月？



十五夜＝満月というイメージがありますが、実は必ずしも満月とは限りません。十五夜とは新月の日を1日目としたときの15日目の夜の月をいいます。陰暦では月の満ち欠け周期の約半分にあたる15日が満月と考えられていました。新月から満月まで平均14.8日ですが、月の軌道が楕円のためずれることもあり、実際には少し欠けた月となります。

ただ、去年に続き今年も満月の中秋の名月となります。

### すすきや団子を供えるのはなぜ？

すすきは月の神様を招く依り代（よりしろ）※として供えられたといわれています。また、収穫を祝ったことから派生し、稲穂に似たすすきを供えるようになった、ともいわれています。昔からすすきには魔除けの力があると信じられていました。

#### ※依り代—神霊が依りつく対象物のこと

団子は、十五夜ではこれからの収穫を祈り、十三夜ではその年の収穫に感謝して、お米で作った団子を供えたのが月見団子の始まりといわれています。（十三夜は旧暦8月15日の十五夜の約1ヶ月後の旧暦の9月13日をいいます。今年は10月27日（金）です。）



### 月見・観月の風習はいつから？

月見、観月の風習は中国から平安時代に遣唐使によって伝えられたといわれています。江戸時代になると一般庶民にもひろがりました。月見・観月は、直接見るだけでなく、景色とあわせて池に映して見るなど、風情のある楽しみ方が古来よりなされてきました。たとえば、桂離宮は月の鑑賞をふまえて設計された、といわれています。

### イベント情報

さじアストロパークでは、第28回月まつりを行います。  
日 時：9月29日（金）18時～21時45分、9月30日（土）10時～21時45分  
参加費：一般（高校生以上）500円、小中学生200円

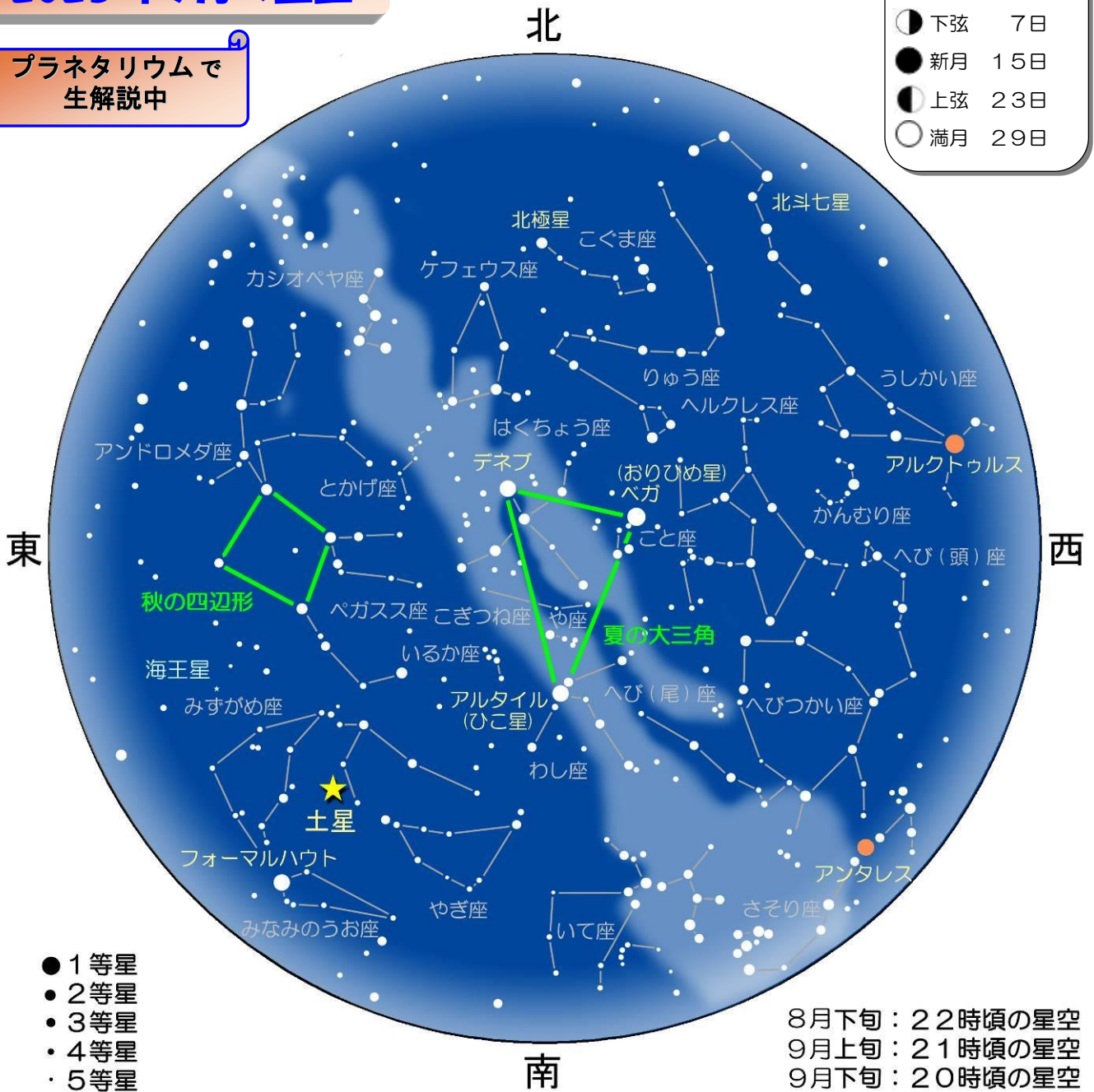
鳥取市さじアストロパーク  
鳥取市佐治町高山1071-1  
TEL0858-89-1011

# 2023年9月の星空

## 9月の月の暦

- ☾ 下弦 7日
- 新月 15日
- ☽ 上弦 23日
- ☾ 満月 29日

プラネタリウムで  
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

8月下旬：22時頃の星空  
9月上旬：21時頃の星空  
9月下旬：20時頃の星空

☆9月になると、昼間は暑くても夜はずいぶん涼しくなります。星空も秋の星たちが見え始めました。秋の気配を感じながら星空を楽しみましょう。

☆「夏の大三角」がちょうど頭の真上にやってきました。長い時間見るには姿勢が辛いので、安全な場所で寝転がって見るのがおすすめです。特に上旬～中旬は月明かりがないので、天の川を見るチャンスです。秋の星座「カシオペア座」～夏の大三角～夏の星座「いて座」とたどってみましょう。

☆東の空には「秋の四辺形」です。1等星はありませんが、3つの2等星と1つの3等星で四角を作ります。上の星図を参考に東の空で四角を結んでみましょう。

☆南東の空には「土星」が見えてきました。環のある姿が有名ですが肉眼では明るい点に見えます。



プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

**鳥取市さジアストロパーク**  
〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1  
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103  
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp

さジアストロパーク

検索